



事業名称	呉高専 2021年度技術サロン（女性技術士と女子学生との懇話会） 主催：日本技術士会中国本部男女共同参推進委員会、呉高専男女共同参画推進室				
開催日時	令和4年1月19日（水）16:20～17:20				
開催場所	オンライン（呉工業高等専門学校から配信）				
関与	主催	参加人数	18名 （会員5名、非会員13名）	CPD	1時間00分
事業内容	<p>呉高専技術士九嶺会と呉高専キャリア教育推進室のご協力を得て中国本部の女性技術士と女子学生との懇話会を行った。対面方式からオンラインに変更したが、ロコミによる勧誘が後押しとなり、環境都市工学科の女子学生8名の参加があった。同日の15:20～16:10（ロングホームルーム）には本科3年生の全4学科を対象とした技術士制度の紹介と合格体験談の講演もあり、技術サロンと連続する形で開催できたのも参加し易さにつながった。</p> <p>最初はアイスブレイクとして自己紹介（女性技術士からは専門分野・現在の仕事、学生は趣味について）を行い、話しやすい雰囲気づくりを行った。</p> <p>学生からは、大学での勉強時間、学生のうちにしておいたほうが良いこと、といった今に関する質問のほか、今の仕事を選んだ経緯や理由、仕事のやりがい、モチベーションの保ち方、おすすめの企業など、将来の就職を意識した質問も多かった。</p> <p>女性技術士からは「勉強時間は大学受験のほうが長く、大学では3年生から研究室に入るの、勉強というよりは研究に費やす時間が長かった」、「インターンシップ、友人づくり、アルバイトなど、若さと気力がある時に色々な体験をして欲しい」、「学生こそ技術士一次試験にチャレンジして欲しい」と先輩としてエールを送った。また、仕事に関しては「若い人が育ってきていることにやりがいを感じる」、「砂防堰堤を整備した後も生物が産卵し、棲み続けている姿にやりがいを感じる」など、仕事の実体験から得られた思いを話した。モチベーションの保ち方については「仕事に好きなことを見つける」、「やることをリストアップして、つぶしていく。頭の整理にもなる」、「仕事に煮詰まったら趣味に没頭して気分転換する」など、明日からやってみたいと思う話も聞くことができた。企業については、女性の割合の多い企業（働きやすい環境が整っている）や、環境都市工学科の学生なので建設系のコンサルタント企業も良いという話をした。</p> <p>以前に比べ、女性が少ないだろうから就職が不安といった声は聞かれず、答える側も仕事と家庭の両立を支援する制度はあるから心配しなくても良いという話をした。全体的にポジティブな質問で、回答の中にも参考にしたいものが多かった。</p>				
					
	蒲地先生、学生さんへのお声掛けありがとうございました		対面同様、楽しいひとときを過ごさせていただきました		
報告者	所属氏名：中国地方整備局 北浦直子 住所：広島県広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 2号館 TEL：082-221-9231 e-mail：kitaura-n87o1@mlit.go.jp				